

第10回 東京都小児理学療法セミナー

子ども達の障がいについて どのように考え、支援していますか？

— 現在の最新知見、動向、エビデンス、そしてその考え方 —

HOW ARE WE THINKING, TALKING AND ACTING IN CHILDHOOD DISABILITY IN 2022?
WHAT IS NEW, WHAT'S THE EVIDENCE, AND WHY SHOULD I CARE?

2023 **1/29** Sun 9:00-11:30

Peter Rosenbaum

Professor of Pediatrics, McMaster University,
Co-Founder, CanChild Centre for Childhood Disability Research



子ども達の障がいについて、これまでのアプローチは正しい診断を行い適切な治療とセラピーを選択するという生物医学をもとにしたものでした。この考え方は、善意から来るものではありませんが、残念ながら上手く機能しませんでした。

2001年にWHOが採択したICFは我々の分野をこれまでよりも幅広い視点でみるという新しい扉を開き、子どもとその家族のwellbeingに「介入できる観点」がたくさんあることに気付かせてくれました。

このセミナーでは、これらの考え方がどこから来て、今どのように考えられて、どのようなエビデンスに支えられているのか、そして、どこへ向かおうとしているのかを学びたいと思います。

みなさまの積極的な参加と活発な議論を期待しています。

Peter Rosenbaum 氏とは

脳性まひなどの障がいのある子ども達の研究機関であるCanChildの共同創設者の一人。ICFの枠組みに小児期で重要視する要素を当てはめた「F-words」を考案、普及活動を行い、世界30カ国以上で講演。CanChildではGMFCSやGMFMなど様々な評価法を考案。

Web 開催 ・同時通訳あり
[ZOOM] ・参加者のみ
後日配信あり

定員:100名

東京都PT・OT・ST会員:2000円
他県士会会員:3000円
非会員:6000円
学生:無料



* 申込方法 *

以下の URL または QR コードからアクセスし、内容・注意事項等をご確認頂いた上で、該当するページからお申し込み下さい。

<http://www.pttokyo.net/toshikai/2022/09/19433.html>